

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 アクティブライフ松柏

(ユニット名) A棟(きんかん)

記入者(管理者)

氏名 西村 由美

評価完了日

平成 19 年 10 月 20 日

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月21日

【評価実施概要】

事業所番号	3870400417		
法人名	医療法人 青峰会		
事業所名	アクティブライフ松柏		
所在地	八幡浜市松柏甲7 2 8 - 1 (電話) 0894-22-2330		
管理者	西村 由美		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年11月15日	評価確定日	平成19年12月21日

【情報提供票より】 (平成19年10月31日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成17年3月15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤	15人, 非常勤 1人, 常勤換算 15.7人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷 金	有( 円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3) 利用者の概要 (平成19年10月31日現在)			
利用者人数	18 名	男性 6 名	女性 12 名
要介護1	3 名	要介護2	4 名
要介護3	7 名	要介護4	2 名
要介護5	2 名	要支援2	0 名
年齢	平均 87.4 歳	最低 78 歳	最高 99 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 (あり)・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 (あり)・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>居室の入り口には暖簾がかけられ、ご家族の写真や利用者の似顔絵等が飾られていた。又、前回の評価結果を受け、利用者と共に自宅に馴染みのものを取りに行かれ、居室をしつらえた方もおられた。                  役割当番表を共用空間に貼り、ご自分の家事の役割等を率先して行っておられた。                  食事の後、後片付けをされる方、テレビを見る方、テーブル席でおしゃべりを楽しむ方、居室で休まれる方等それぞれのペースに合わせて職員は、見守り支援されていた。</p>
---

【質向上への取組状況】

<p><b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・前回の外部評価結果を受けて改善計画書を作成され、事業所に掲示し、全職員で取り組まれた。</p>
<p><b>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</b></p> <p>・管理者は、サービス評価の主旨を説明し、全職員で自己評価を作成され、個々の課題点等を再確認された。</p>
<p><b>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</b></p> <p>・事業所では、会議時たくさんの意見が得られるよう、ざっくばらんな会にしていくことに心がけておられる。運営推進会議時、事業所の取り組みの報告等をされ、食事の味付けや材料等についてアドバイスもいただいた。今後は、地域の防災訓練等にも参加していく予定となっていた。</p>
<p><b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</b></p> <p>・ご家族の来訪時や家族会の機会に、ご家族から意見や要望等を聞き取っておられる。現在は、意見等が出されることは少なめである。</p>
<p><b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b></p> <p>・夕涼み会の開催等、地元の方達との交流を図っておられる。事業所では、近所の方達と交流する機会が少ないのではないかと感じておられる。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			地域の中で、ゆっくり楽しく生活して行くことを謳った理念をつくっている。		
			(外部評価)		
			事業所では開設当初から、利用者が「地域の中でその人らしく」暮らすことを支援できるよう理念を作っておられる。		さらに、地域の方々に事業所の役割等、理解を深めていけるような取り組み等も期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			玄関、廊下、管理室に掲示し、いつでも確認できるようにしており 理念を基によりよいケアができるようにしている。		理念を再確認しなくても、いつでも頭の中に浮かぶよう浸透を図りたい。
			(外部評価)		
			事業所の理念を共用空間等、目に付きやすい場所に掲示されている。又、スタッフ会等の機会でも、理念に基づきケアが行えているかということを確認しておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			玄関や、ホールの良く見える場所にく大きく掲示し、見学にこられたかたに理念を伝えるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日常的に散歩や買い物に出掛け、近隣の方と挨拶を交わしたり話をしている。又、中学生の登下校時の際、気軽に挨拶を交わしている。		狭いながらも畑があり、キンカン、ゆず、レモン等を植えているので、収穫した際には隣近所におすそ分けをし付き合いを深めたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 中学校行事、地域の行事、公民館の催し等に参加している。又、今年初めて夕涼み会を行い、地域の方にも参加を呼びかけた。 (外部評価) 夕涼み会の開催等、地元の方達との交流を図っておられる。事業所では、近所の方達と交流する機会が少ないのではないかと感じておられる。		小学生や、保育園、幼稚園児との交流がないので、今後交流が図れるように工夫したい。 運営推進会議時、地域の回覧板で、事業所の催しの案内をしてみてもどうかと提案していただいている。今後さらに、近隣の方達とお付き合いのきっかけ作りが期待される。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 中学生の介護実習を受け入れ、グループホームでの高齢者の生活や、認知症についての理解を深めてもらっている。		地域の高齢者の方にも、気軽にホームに立ち寄っていただけるような機会、雰囲気をつくっていききたい。
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 全員で自己評価に取り組み、自分達の良い点、足りない点を見つけ、今後のケアに反映しようと努めている。 (外部評価) 管理者は、サービス評価の主旨を説明し、全職員で自己評価を作成され、個々の課題点等を再確認された。前回の外部評価結果を受けて改善計画書を作成され、事業所に掲示し、全職員で取り組まれた。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の状況、サービス内容、活動報告等を行い、家族や地域の方に感想、意見を出していただいている。		今のところ、管理者、計画作成担当者のみが出席しているので、他の職員も参加し、外部の声を直接聞く機会にしたい。
			(外部評価)	事業所では、会議時たくさんの意見が得られるよう、ざっくばらんな会にしていくことに心がけておられる。運営推進会議時、事業所の取り組みの報告等をされ、食事の味付けや材料等についてアドバイスもいただいた。今後は、地域の防災訓練等にも参加していく予定となっていた。	
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			運営推進会議、連絡会、介護相談員の訪問以外、特に行き来する機会はない。		行事を行う祭、市の担当者も招待し、利用者や職員に直接接してもらう機会をつくりたい。
			(外部評価)		
			3か月に一度、市主催の連絡会に参加されており、意見交換や勉強会をされている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			職員の数名は研修に参加しているが、今のところ必要としている方がいない。		順番に研修に参加したり、勉強会を開き、職員全員が理解できるよう促したい。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			勉強会や、ミーティングを実施し、防止に努めている。		繰り返し勉強会を開き、意識付けをしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) ゆっくり時間をかけて説明を行い、疑問、質問には丁寧に対応するようにしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員の来所時、話を聞いてもらっている。又、意見箱を入居者、家族の良く見える場所に設置している。利用者のふとした言葉や気になる言葉は、スタッフ会で話し合うようにしている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 二ヶ月に一度新聞を発行し、家族に届けている。利用者に変化があれば、その都度電話連絡している。		新聞以外にも、活動の様子や近況を写真や手紙でお知らせするようにしたい。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 行事の後、家族会を開いて意見を聞くようにしている。又、来所時には、気軽に話していただけるような雰囲気作りを心がけている。重要事項説明書で苦情受付機関を紹介している。		職員が席を外し、家族同士で話し合いが出来る場を作り、意見が出れば伝えてもらうようにする。  さらに、ご家族から意見や要望をいただけるよう、家族会の進めかた等についても工夫を重ねていかれることが期待される。職員が替わることについて、利用者はもちろん、ご家族等の心情等にも配慮していかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)  スタッフ会で意見や要望を聞くよう、心がけている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)  利用者に合わせた対応ができるよう努めてはいるが、職員の数が少なく、どうしても柔軟な対応ができないこともある。		必要な人員を確保し、利用者のペースに合わせた支援ができるようにする。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)  努力していると思うが、離職者が多いのが現実である。職員が代わった場合は、きちんと利用者に紹介し、はやく馴染んでいただくよう、各自努力している。		
			(外部評価)  職員の離職がある場合、利用者がダメージを受けないよう、声かけ等に工夫をされている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)  法人内の研修や、グループホーム連絡協議会の研修を、順次受けている。 スタッフ会で、勉強会や研修の報告会を行っている。		研修の案内が来れば、職員全員が目を通し、希望があれば出来る限りの協力をする。
			(外部評価)  毎月、職員が法人内・外の研修を受けられるよう推進されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 法人内のグループホームの管理者を集めて、連絡会や研修会を行っている。又、グループホーム各自が交流会を行い、親睦を図っている。		
			(外部評価) 法人内の他グループホームの研修や連絡会等に参加されている。運営推進会議に、他事業所の方を招き、交流を深めておられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 忘年会、院内旅行、地方祭の催しに参加等、気分転換の機会はあるが、日常的には、利用者から完全に離れて休憩時間を取れないので、ほっとする時間が無い。		より良いケアを行うためにも、休憩時間、休憩場所を確保したい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 年に2回職能評価を行い、向上心をもって働けるよう努力している。又、各自、資格取得出来るような環境作りを行っている。		
<p><b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) サービス利用の相談があれば、できるだけ本人にホームを見ていただくようにしている。又、本人や家族とのコミュニケーションをかかさず行い、生活状況の把握に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ゆっくり話を聞く時間をとり、本人や家族が求めていること、困っていることを聞き出し、ホームで何が出来るか話し合っている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) グループホーム内で話し合い、解決できない時は、他の機関と相談するなど、本人や家族の思いに近づけるよう努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 何度か見学に来ていただき、安心感を持ってもらうようにしている。		
			(外部評価) 可能な限り、ご家族、ご本人に見学していただけるようすすめておられる。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者と職員がいろいろな場面で協働している。又、一緒に過ごしたり話したりする中で、たくさんのことを教えて頂いたり、共に喜んだり悲しんだりしている。		
			(外部評価) 利用者が率先して家事等を行なってくれる場面が多く、利用者と職員が協力し合って生活している様子がうかがえた。職員は、料理のことや地域の歴史等について教わることもある。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 来所時に日頃の様子を伝え、家族の意見を聞いたり、アドバイスをしてもらったりしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族への電話連絡を取り持ったり、行事に参加してもらおうよう便りを出している。来所時には、部屋でゆっくり話ができるような雰囲気作りをしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 一人ひとりの思い出の場所に出かけていくことは、とても難しく、今のところできていない。		時には馴染みの場所に出かけていけるよう、勤務体制を調整する。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 各利用者の得意不得意、好き嫌いを把握し、それを生かした関係作りをしている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) いつでも遊びに来てもらうよう声掛けをしたり、行事に招待したりしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p> <p><b>1.一人ひとりの把握</b></p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	(自己評価)		
			<p>日常の会話やかかわりの中で、言葉や表情などから、本人の気持ちを推し量るようにしている。</p>		
			(外部評価)		
			<p>利用者との関わりの中で気づいたことについて、朝の申し送りやスタッフ会などで話し合い、全職員で利用者個々の思いや意向、希望の把握に努めておられる。</p>		
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>昔の話や若い頃の思い出など、色々と話を聞き、生活歴、価値感等を把握している。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	(自己評価)		
			<p>健康状態、行動、言葉など記録をとり、毎日申し送りをしている。</p>		
<p><b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している</p>	(自己評価)		
			<p>スタッフ会で職員間の意見交換を行い、プランを立てているが、本人、家族は参加しておらず、意向を反映しているとはいえない。</p>		<p>日頃、本人や家族に、介護計画についての意見を聞く機会を作り、意向を反映するようにしたい。</p>
			(外部評価)		
			<p>すべての職員が参加し、利用者個々の情報を踏まえて意見交換を行い、介護計画が作成されている。</p>		<p>さらに、ご本人の生活を支援していくためにも、計画にご本人の希望やご家族の意向等が採り入れられるような仕組み作りが期待される。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			期間が終了する前に見直しを行い、又、状態が変化した際にも、必要な見直しを行っている。		
			(外部評価)		
			3か月ごとの見直しと状態の変化に応じた随時の見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			食事、排泄、暮らしの様子、本人の言葉等を記録し、気をつける事や変化があれば、申し送りノートに記入して職員全員が把握するようにしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			状況に応じて通院、送迎等、臨機応変に対応している。		
			(外部評価)		
			通院、買い物、理美容の利用等、柔軟に対応されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 消防、公民館とは、普段から連携が取れている。中学生や婦人会のボランティアの方にもよく協力していただいている。		ボランティアの方に相談し、利用者の活動範囲を広げていきたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他のケアマネジャーやサービス事業者との連絡は、あまり取れていないと思う。		機会があれば情報交換を行い、必要が生じた際に、スムーズに対応できるよう、関係作りをしていきたい。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 今のところ、権利擁護の必要性もあまりなく、ケアマネジメントについても協働していない。		必要が生じた際に、スムーズに対応できるようにしておく。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 母体の病院から、定期的に往診してもらっている。又、変化のあるときは連絡し、指示、往診を受けている。希望があれば、入居前からのかかりつけ医に受診できるよう、家族と協力している。 (外部評価) ご家族、ご本人の希望するかかりつけ医に受診できるよう、ご家族の協力を得ながら支援されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 主治医と相談しながら、適切な診断、往診を受けられるよう支援している。		緊急時の対応について、不安な点が多々あるため、定期的に指導をってもらうようにしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 母体病院より定期的に来所してもらい、相談しながら健康管理を行っている。又、介護記録にも目を通し、アドバイスをもらっている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入居者の情報を病院に提供し、情報交換に努めている。医師や家族と相談しながら、対応可能な段階で退院できるよう、アプローチしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入居時に、医療連携の指針で、重度化し看取りの必要が生じた場合の対応について説明している。  (外部評価) 入居契約時、ご本人、ご家族には、医療連携の指針に基づき説明されている。その後、利用者、ご家族と重度化した時のことや看取りについて話し合う機会は少ない。		ご本人の思いやご家族の心配されていることを聴き取ったり、事業所の体制作り等を話し合う機会とされてはどうか。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人や家族の意向を踏まえ、主治医と相談しながら、できることを全員で支援していくよう努める。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) これまでの生活状況、支援内容、注意が必要な点等、情報提供を行っている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1.その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			一人ひとりの性格を把握し、言葉かけや対応に気を配っている。又、個人情報保護法の理解に努め、職員の意識向上を図っている。		
			(外部評価)		
			調査訪問時、職員は、利用者個々の個性等を踏まえた声掛けをされている様子がうかがえた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			時間がかかっても、なるべく利用者一人ひとりが意思表示できるような選択肢や機会をつくるようにしている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			職員の数にゆとりがあるときは、買い物や散歩など、個別性のある支援を行っている。		いつでも利用者の希望に添った支援ができればと思う。
			(外部評価)		
			食事の後、後片付けをされる方、テレビを見る方、テーブル席でおしゃべりを楽しむ方、居室で休まれる方等それぞれのペースに合わせて職員は、見守り支援されていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 更衣時には、なるべく本人の選んだ服を着てもらっている。散髪の際には、本人の好みの髪型にしている。部屋には鏡とくしを置いている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 誕生日には、本人の希望する料理を中心に、献立を決めている。調理、盛り付け、後片付けも一緒に行っている。 (外部評価) 利用者と職員と一緒に協力し合って食事の準備、片付けをされていた。食事中、利用者の昔話と職員のやり取りの会話がはずみ、楽しい食事時間となっていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 行事の際には、お酒やビールを少しずつ、皆で楽しんでもらっている。取り出しやすい場所に冷蔵庫を置き、好きな飲み物等を、ある程度自由に楽しめるようにしている。食べたいおやつを職員と一緒に買いに行くこともある。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導、介助をおこなっている。トイレで排泄できたことを本人と共に喜んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			一応職員の都合で決めているが、そのときの体調や希望は考慮している。		利用者の希望どおりに入浴が楽しめるよう考える。
			(外部評価)		
			体調等にも配慮して入浴を支援されている。毎日入浴される方もおられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中の活動の仕方を工夫し、夜間ゆっくり休めるよう考慮している。体力のないかたには昼寝をしてもらっている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			調理の下ごしらえ、後片付け、水遣り、お膳拭き、メニュー書き、洗濯物干し、洗濯物たたみ等、得意な仕事をしてもらっている。又、塗り絵、トランプ等を一緒に楽しんで行っている。		
			(外部評価)		
			役割当番表を共用空間に貼り、ご自分の家事の役割等を率先して行っておられた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			小遣い程度をもっといただき、買い物に行ったときには、自分で好きなものを買ってもらっている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			散歩や、近くのスーパーなどへ買い物に出かけたり、ドライブに行っている。		お散歩ボランティアをお願いしようと思っている。
			(外部評価)		
			婦人会のボランティアの協力を得て、買い物に出かけられた。現在、利用者が、ちょっと近くに出かけるというような機会は少な目である。		利用者の希望等もうかがいながら、日常的に気軽に出かけられるような支援も期待される。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			一人ひとりの希望に添うことは難しいが、計画を立て、職員の勤務を調整しながら、出かける機会を作っている。		もっと家族と出かける機会を作りたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者の希望に応じて、電話や手紙を出せるよう支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			いつでも気軽に来ていただけるよう、オープンにしている。こられた際には、自室で遠慮することなくゆっくり過ごしていただいている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期待 したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、身体拘束を しないケアに取り組んでいる	(自己評価)  身体拘束に関する勉強会を実施し、職員一同、拘束の ないケアを心がけている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄 関に鍵をかけることの弊害を理解してお り、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価)  日中は玄関の鍵はかけず、職員一人ひとりが利用者の 行動を把握し、状況に応じた対応をしている。  (外部評価)  日中、玄関の鍵はかけておらず、センサーで来訪者を 察知できるようになっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しなが ら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握 し、安全に配慮している	日中は利用者と同じフロアで、記録、調理などの作 業を行いながら全員の状況を把握し、夜間は、数時間 毎に様子を確認している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすの ではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を 防ぐ取り組みをしている	(自己評価)  状況に応じて、見守ったり、取り除いたりしている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を 防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態 に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価)  ヒヤリハットを記入し、事故原因や予防対策を全員で 検討。事故防止の再確認を行っている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  看護師や、救命救急士による勉強会を行っている。		新しい職員が入ったときに、勉強会や訓練をしてほしいとの要望があったので、考慮する。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  消防署の協力を得て、定期的に避難訓練、避難経路の確認、消火器の使い方の訓練を行っている。  (外部評価)  夜間を想定した訓練も実施されている。夜間、職員数が少ない時間帯の避難の方法について、消防署のアドバイスを受けられた。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価)  入居時に、身体拘束しないケアをめざしていることを説明し、その為に、転倒等の可能性があることを伝えて理解してもらっている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  食事の量、排泄の有無、バイタル値の変化等、毎日一人ひとりの様子を観察し、変化があれば主治医に報告、指示を受けている。又、内容を申し送り全員に伝え、統一した対応ができるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋のコピーをファイルに整理し、いつでも職員が内容を確認できるようにしている。服薬時は本人に手渡し、きちんと服用できているか確認している。症状に変化があれば、主治医に報告、指示を受けている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 繊維質の多い食材を多く取り入れたり、水分をきちんと取るよう、又、体操や散歩等、適度に体を動かすよう気をつけている。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後口腔ケアをして頂くよう、声掛け、見守り、介助を行っている。夜間は義歯を外し、洗浄剤につけ、清潔保持を心がけている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量や残したものを記録し、栄養バランス等を大まかに把握している。水分補給はこまめに行っている。 (外部評価) 事業所で作成した献立を時々、法人内の栄養士に見ていただき、アドバイスをもらうようにされている。水分摂取に気を付けた方が良いような方には、居室でも水分摂取できるようペットボトルを置いておられた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルを作成しており、毎日手すりの消毒、手洗いやうがいを励行している。インフルエンザの予防接種は利用者、職員共に、全員が受けるようにしている。手拭き用には、ペーパータオルを使用している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>まな板やふきんは毎日ハイター漂白し、清潔を心がけている。食材は毎日使用する分だけ用意し、使い切るようにしている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関前にはプランターやベンチを置いている。玄関には花を生けたり、入居者の作品を飾ったりしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>車の多い通りから少し離れているので、静かである。リビングやドアには、本人が作成した季節を感じる作品を飾っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>廊下には神棚があり、居間に秋の紅葉の写真がたくさん掲示されていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>リビングにソファやテレビを置き、一人で過ごしたり、数人でくつろいでいる。廊下の所々に腰掛を置き、ここでも一人で過ごしたり、数人でくつろいでいる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			家族の写真や本人の作品、以前から使っていた馴染みの物を部屋に置き、居心地よく過ごせるように配慮している。		
			(外部評価)		
			居室の入り口には暖簾がかけられ、ご家族の写真や利用者の似顔絵等が飾られていた。又、前回の評価結果を受け、利用者と共に自宅に馴染みのものを取りに行かれ、居室をしつらえた方もおられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			天気の良い日は、朝窓を開け、空気を入れ替えを行っている。冷暖房と、衣服の調整で気候の変化に対応している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			廊下、リビング、トイレ、浴室等手すりをつけているが、浴室の手すりが使い勝手が悪い。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			トイレのスイッチが分かりにくい方がいるので、色テープを貼り、自分で点けたり消したり出来るように工夫している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ウッドデッキや玄関に椅子を置き、外気浴を楽しめるようにしている。小さな庭にはミニトマトやピーマン、果樹を植えており、水遣り等の世話をし、収穫を楽しみにしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	会話の中から思いや願いなどを聞きだし、それに近づけるよう支援している。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	おやつや食事の際新聞記事やニュースを取り上げたり、世間話、昔話などしながらゆっくりと過ごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自室で過ごしたり、リビングのフロアでテレビをみたり、それぞれに自分のペースで過ごされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一緒にトランプや将棋をしたり、ボール投げ、ボーリング等のレクリエーションをすると、いつも以上に笑顔がみられる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	買い物や散歩には機会を見て行っているが、遠方へは、人員不足ということもあり、なかなか出かけられない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	定期的に主治医が往診し、又、変化があればすぐに連絡し、指示や往診をうけている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分で出来ることは出来るだけして頂くよう声掛けをしているが、体調に合わせて、支援方法を変えるようにしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ③ 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	来所された時には普段の様子を伝えるようにしている。又、家族と何気ない会話をしていくうちに、親しみがわくよう努めている。しかし、あまり面会にこられない方とは話が出来ない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 4 ほとんどない	中学生、ボランティア、相談員の方が、時々こられている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議の出席者から地元の情報を教えて頂き、日常生活や、行事等での関わりが増えていると思う。
98	職員は、生き生きと働けている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の入れ代わりがあり、人員不足にも拘らず、勤務外の仕事や、担当外の仕事まで笑顔で進んで行っている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居された頃よりも笑顔が多くなったことで、安心して過ごされていると思われ、満足されているのではないかと思います。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族の方と会話をする中で、今のところ不満を聞いたことがなく、又、苦情の電話等も受けたことが無いので、おおむね満足されているのではないかと思います。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

職員が心を一つにして、入居者が安心安全に、ゆったりとした生活が送れるよう支援をしています。  
又 職員の誰か一人が体調を崩したら皆が心配し、その人の分も頑張るようなグループホームで、いつも笑顔と笑い声があふれています。